

で会
衛権
自議
的
集團
集

撤回の陳情不採択

提出団体「議論低調」と落胆

市民団体などが提出した
集團的自衛権行使容認の閣
議決定の撤回を求める陳情
2件について県議会は14
日、本会議で不採択とした。

からは「議会の勢力から結
果は分かっていたが、議論
が低調で残念」と落胆の声
が上がった。

党・無所属クラブは「武
力行使の範囲が時の政府の
判断で変わり、歯止めには
ならない」と批判。「憲法
改正を終了、閣議決定とい
う形で解釈変更に多くの
国民が反対している。県議
会も重く受け止めなければ
ならない」と訴えた。

一方、不採択の立場で討
論した早川尚秀氏（とちぎ
自民党議員会）は閣議決定
について「憲法9条の枠内
であり、政府が一貫して表
明してきた見解を何ら変更
するものではない」と強調。
「今後、法案の国会審議を
通じ、国民を巻き込んだ広
範な議論が行われると見え
られる」として不採択を求
めた。

町が継続審査などで判断を
見送った。不採択とした10
市町でも賛否が拮抗する状
況が相次いだ。

陳情を出した市民団体
「戦争をさせない全国署名
栃木県連絡会」事務局次長
の福田宏至さん（67）は「県
議会では、ものわかりのい
い大人の議論になりすぎて
いるという印象。もつと個
人として意見表明してほし
かった。一部の市町議会で
は活発な議論がなされてい
るだけに残念だ」と述べた。
(佐藤洋)

本会議では、陳情に対し
賛否それぞれ1人ずつが討
論した。

採択すべきとの立場で討
論した松井正一氏（民主

集團的自衛権の閣議決定
撤回を求める陳情は県内全
25市町議会にも提出されて
おり、9月定例会では15市

採択すべきとの立場で討
論した松井正一氏（民主